



<本年度会長方針> 夢や希望を語り合おう

地域を育み、大陸をつなぐ

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岩崎 征一 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 松本 哲朗 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

<2010-2011年度 R.I.テーマ>

R.I. 会長 レイ・クリンギンスミス
Ray Klingensmith



写真左から、名古屋中RC・名古屋大須RC
・名古屋栄RC、各RC会長・副会長・幹事

第1280回例会

会員増強および拡大月間

平成22年8月30日(月)
名古屋中・栄・大須合同

ガバナー公式訪問
於 名古屋観光ホテル

会員61名

出席計算数

52名中38名出席

出席率73.08%

前々回出席率100.00%

「ロータリーソング」

「我等の生業」

「ニコボックス」

ガバナーご苦労さまです。

田嶋ガバナーのご活躍を祈念して

杉本 英夫・吉田 隆彦

堀江 英弥・小笠原和俊

川畑 博敬・田崎 雅三

草野 勝彦

今月誕生日です。 近藤宏一郎
新沼 操

会長挨拶

名古屋中RC会長
高橋公比古さん



皆さん、こんにちは。今日は、毎日、本日に暑い日が続いています。私は

今日、11時前にこちらへ来たのですが、車の外気温は38℃になっていました。暦上、早く過こしやうい季節になって欲しいものだと考えております。

しかし、名古屋は気温以外も大変暑いです。27日から3日間「第12回にっぽんど真ん中祭り」で大いに盛り上がりました。観客数は210万人。ギネス登録を目指して1万人の踊り手が一斉に繰り出したようです。参考までに、この地域における200万人以上が集まった事例は、平成21年の熱田神宮の初詣参拝者が235万人、昨年度のナゴヤドームの中ドラゴンズの観客数が230万人と聞きました。そう考えると、本当に多くの方が参加されたと実感します。

さて、今日は、ロータリーの年

中行事で最も大事な、ガバナー公式訪問でございます。私も3カ月振りにネクタイを締めて参りました。大須・栄・中、3RCで田嶋ガバナーをお迎えした訳ですが、田嶋ガバナーにおかれましては、30回もの公式訪問を行って頂いて、今日が3番目と伺いました。ようこそおいで頂きました。ここで3RCメンバー全員、田嶋ガバナー！水野地区幹事に対して今一度拍手をもって歓迎の意を表したいと思っております。

には、心からの歓迎と友情で拝聴頂きますようお願いいたします。最後になりますが、田嶋ガバナー、水野地区幹事におかれましては、これからも激務が続くと存じます。1年間、健康に留意され、ご活躍されますよう、心から祈念申し上げ、歓迎の挨拶とさせていただきます。

卓話

R1第2760地区
ガバナー 田嶋好博さん



皆様、こんにちは。今日は食事前のこと、お腹を減らした中でお話を聞いて頂くことになり、申し訳ありません。私としましては、食事でお腹が膨らみ、気持ちよく風覆されているうちにスピーチを終えるという段取りが良いのですが(笑)。

まずは、各クラブの皆様へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。

中RCの皆様、特に加納PGには会長幹事会にもご同席頂きまして誠に有難うございました。また、

皆様にはRYLAセミナーのホストを引き受けて頂き、誠に有難うございます。今年は新世代が少なくなって参りましたので、RYLAも少し新しい運営にしようと思っております。大変期待しております。

大須RCの皆様は、先日、中部経済新聞に大変大きな記事が載っております。「大須版OPP10」を開催され、1200人位の市民参加もあったとのこと。このように活躍頂へことは、地区としても本心に類もしい限りであります。

米RCは今年度、西村ガバナー補佐に出て頂きました。実は私と一緒に仕事をしている者が西RCの会長として、今度のカバナー補佐は色々質問をされるから困る」と言っていて、エニク緊張して出かけて行きました。なかなか厳しい補佐顧問をしておられるようですが、卓話では終わりに、「専門の睡眠時無呼吸症候群の紹介をされ、大変好評を博していただきました。もう一つもそれぞれ、大変面白い活動のある活動をやってもらいます。今年以降もますます活躍頂きますよう、祈念しております。

ユウビー、2012～13年度のRCR会長は、日本の埼玉県八潮RCR会員の田中作次さんが当選されました。実はそれに伴い、当地区に「現在日本で一番会員数の多

い地区だからR理事を出せ」という要望があり、盛田PGを中心にして色々検討することになりました。活躍されているPGの顔ぶれは皆様も大体想像がつくと思いますが、今年の規定審議会で「R理事はガバナーが終わって3年間はなれない」という制限が新たに入りました。そうすると、齋藤PGから上の方でないとならず、齋藤PGに交渉しました。残念ながら人生の最期をロータリーに賭けるようなお気持ちで承諾を頂きました。しかし実は、「直近3回の世界大会に1度も出席していない」とR理事にはなれない」という条件が更にあり、齋藤PGの選出はダメだということになりました。

75歳の今から2年後、2年の任期をお務め頂くというのは誠に大変な決心だったと推察申し上げますが、そこで気づいたのが、当地区のガバナーは皆、年を取りすぎていくということ。当地区からR理事を出そうと思ったら、少なくとも8代初めて英語が話せる人を選ばねばならない。クラブ会長も若い人にどんどんやってもらう必要があるのではないかと、今年度のカバナー選挙委員長との江崎PGと話し合った次第であります。

多少前置きが長くなりましたが、今年度のRCR会長、レイ・クリン

ギンスミスさんはアメリカの弁護士ですが、とにかく「変わっている」という印象を私に受けました。国際協議会の1日目に登壇せず、2日目の午後になって初めて登場されました。そして真先に「自分は全てのロータリーの制度を見直し、見直す必要があると直ちにそれを実行する。自分は改革派である」と宣言された訳です。

そうした断りの上で、RCR会長テーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」と発表されました。彼は過去のRCR会長テーマを全て調べた結果、全部がロータリーのみ呼びかけているテーマであったことが分かった。しかし自分は、ロータリーにロータリーの意義を呼びかけるが、一般の人にもそれを呼びかけたい。たとえば、エベーターの中で乗り合わせた一般の人に、ロータリーの意義を訴へ理解して頂けるような、そんなテーマを選んだのだ。まさに仰るように、ロータリーとしても、一番分かりやすいテーマだと思えます。

RCR会長の強調事項は8つです。中でも「ポリオの撲滅」と「青

少年プログラムの推進」が一番強調したいことだと仰いました。他に「平和と紛争の予防/紛争解決」以下の事務柄がありますが、私は話を聞きながらこれらは「人道的プロジェクトの推進」という1つの項目で括った方が、皆様の理解が得やすいのではないかと思います。そこで、当地区ではRCR会長の強調事項は3つ——「人道的プロジェクトの推進」のサブ項目として6つがあるという形にさせて頂いています。他地区ではおそらく8つ」という説明であるかと思いますが。

さて、この「人道的プロジェクトの推進」を含めた3つのテーマがロータリー財団という関係にあるか。その前に、ロータリーの基本的な方針とどう関係があるかについて説明します。RCRに「長期計画」というものがあります。一昨年11月の理事会で承認され、今年の7月から実施されました。RCRは今後の3～5年間、この計画に従って運用していくというものです。

その長期計画の項目の1つに「人道的奉仕の重点化と増加」があり、「ポリオの撲滅」「青少年と青年のプログラム」という項目も出てきます。そして、ロータリー財団の6つの重点分野は、先程人道的プロジェクトの推進で一括りしたものが全て、重なっている

訳です。

そして、この長期計画ではっきり謳っていますのが、「Rとロータリー財団の長期的な方向性を統一する」ことです。今まではどちらかと言えば、Rとロータリー財団は別物だということの理解が、皆様の中にもあった訳であります。この長期計画では「長期的に事業計画を一緒に持つ」ということが決められています。つまり、2つの組織が極めて接近するということ。それと同時に、3～5年間はこの計画でもって行くということです。今後、RCR会長が変わっても、3つの重点・強調事項は必ず出てくることになろうかと思えます。

Rの長期計画については、ご存知ない皆様も多いと思いますので、ここで少し、説明したいと思います。標語として「超我の奉仕」が掲げられ、中核となる価値観として、奉仕・親睦・多様性・リーダーシップが出ています。また、使命として「私達は他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダー間の親睦を通じて、世界理解親善平和を推進する。」のようになっています。この間の国際協議会でも盛んに強調していましたが、Rはこうした長期計画を、各地区、各クラブでも策定して欲しいと言っています。

ています。実は、クラブ・リーダーシップ・プリンでも「長期計画を策定しろ」ということは既に書いてあったのですが、地区やクラブにそれが根付くことはあまりなかった。なぜならば、ロータリーは単年度制であるからです。毎年、クラブの役員が替われば考え方も変わり、事業も変わります。それがロータリーの大きな一つの特徴であった訳でして、それなのに「今後3～5年間を拘束する長期計画を作る」ということは、一体誰が何を基準にして作るのかという疑問が、当然湧いて参ります。もし仮に長期計画を作ったとしても極めて理念的なことを書くしかないのではないかとお考えになるのはもっともなことだと私も思います。

しかし実は私、先日、豊橋RCの創立60周年の記念式典と豊田西RCの創立40周年の記念式典に出席して参りました。その時各クラブの皆様が細々と仰ったのは、そのクラブの歴史と伝統、そして、過去に実行してきた多くの奉仕活動の総括、とりまごめでありました。それを伺いながら私は結局、各クラブが過去の奉仕活動を整理し、取りまごめていけば、事実上の長期計画ではないかと思えました。クラブの歴史や特徴を確立し、会員内で奉仕に対する考え方の合意をえできれば、長期計



画を策定するのは割と容易なのではないでしょうか。

これをきっかけに、「すべて」とは申しませんが、何年もかかって結構ですから、長期計画の策定も視野に入れて頂きたいと思えます。実は地区にも、私は3年がかりで検討し、結論を出して欲しいとお願ひしております。

それから本年4月の規定審議会で、新しい決議がなされました。奉仕の第5部門として「新世代奉仕」を加えるということですが、そこで私は本年度、地区協議会が終りました後、地区新世代委員会を解散し、私が直轄することを決めました。新世代は今回、従来の

RYLA・インターアクト（IAC）・ローターアクト（RAC）に国際奉仕から青少年交換が移動して参りました。これらは全て、小委員会として活動して来られたのですが、既に素晴らしい実績を持つ4委員会を全て、通常委員会に格上げいたしました。元々小委員会の連絡・調整機能を担っていた新世代委員会は実質性がなくなり、今年に限り廃止し、私が直轄する形を試行した訳です。

ところで、新世代奉仕は一体どんな事業をやるのか。定款第5条として入った項目を見ますと、奉仕の第5部門である新世代奉仕は、指導力養成活動——これはRYLA委員会が行っていることです。

社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加——これはIACやRACの事業ですね。そして世界平和と異文化の理解を深め、育む交換プロジェクト——「承知の通り、青少年交換がやっています。となると、この4委員会がしっかりと活動してくれば、当面の新世代奉仕活動は十分、その目的が達成されるということになる訳です。

実は、国際協議会で紹介された新世代関連の事業は、他にも色々ありました。たとえば「新世代のためのロータリークラブ」。30代までの若いロータリアンで構成されたクラブで、単人や学校の先生・

普通のサラリーマン等で構成されています。壇上上がった代表は「自分達はお金がないけれども、チャリティを行い、そのお金でもって奉仕事業を行っている」。どうやら、会員からそれぞれやりたい事業の提案があり、それに賛同した人達でチャリティ等の活動を展開するという形で、既に、アメリカを中心に中南米に広がっているクラブなのだそうです。日本の場合、RACと年齢が重なり、

日本のロータリアンの場合、入会したある程度の年数は会員である訳ですから「30過ぎましたので止めます」というのは考えられない。導入は難しいと思えました。更には「キッズ・ロータリー」。

小中学生を対象にした組織を作るという提案もありましたが、日本は「存知の通り、中学校までは義務教育でありますし、特に当地区は私立の小中学校はくわすかしかありませんからこれもやはり、導入するのは難しいという気がしました。

という訳で、当面の処は先程申し上げた4委員会の活動を柱にしていけば、十分対応できると思う次第です。

ところで、私の地区の重点項目に「毎日が職業奉仕」というものがあります。実はこの職業奉仕、我々日本のロータリアンは、ロータリーの会員とは、高い見識と実

績を積み上げた人ばかりであり、そういう人々が例会等においてお互いに切磋琢磨し、自らの人格と職業倫理の向上に努める「ロータリーとは人生の修道場である」と強く教えられて、現在に至って参りました。

しかし今、Rが職業奉仕をどう考えているか。Rの『職業奉仕に関する声明』を紐解くと、「職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想の実践をロータリーが推進し、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているのは次のものである」として、3つの事柄が挙げられています。第1は「あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には雇い主・従業員・同僚への誠実・忠実さ。またこの人達や同業者、一般の人々、職業上の知己、全ての公正な扱いも含まれる」。私共が色々勉強してきた職業倫理は、「最も高度の道徳的水準を守り、推進すること」という言葉に込められています。第2は「自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならずあらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること」。これは当たり前の言葉は当たり前の話で、どんな職業も貴賤はないということだと思えますが、問題は第3番です。「自己の職業上の手腕を、社会の問題やニーズに役立て

る」と。「自己」が実は、個人であらうと、お勤めの企業であらうと、幅広く「自己」として解釈されておりまして、国際協議会ではその象徴的な出来事がありました。

アメリカのお医者さんが壇上上がり、「自分は後進国へ行って1カ月間、無償の診療活動をしてきた。それはまさに職業奉仕だ」と仰ったのです。日本のガバナーエレクトの殆どは、「それは職業奉仕ではなく社会奉仕じゃないか」と言っていたのですが、この声明を見れば、明らかに職業奉仕に含まれているということです。

私達日本人が職業奉仕を考える時、職業倫理・人格形成・修養道場という、1つのパターン化された考えしかない傾向があります。そこで私は皆様に、職業奉仕には色々な形があり、とにかく企業倫理だけではないというように是非、ご理解頂きたいと思っております。特に、私のよくない加減な人間ですと、職業倫理と言われると直方に思考が停止し、それ以上議論が展開しない可能性があるのでありますが、日本を除く諸外国の職業奉仕は、この3番目のことを中心に行われているというところを、この機会にご理解頂きたいと思っております。職業奉仕はロータリークラブとクラブ会員両方の責任である」とも書かれていま

す。要は従来の、倫理を中心とする職業奉仕と、Rの考えるそれは少々違うというご理解を頂ければ私はそれで結構だと思っております。

最後に、「メークアップは例会に出席して」について、私の個人的な経験をお話しさせて頂きたいと思っております。

私がロータリーに入会させて頂いたのは1972年と、相当前の話でありますから、ロータリー情報委員長から最初「言われたのが」「例会には100%出席しろ。また、「ホームクラブにだけ出るんじゃないか、他のクラブにもメークアップへ行け」とご指導を受け、「機会があれば東京RCへ出席しろ」という話がありました。その1〜2カ月後、たまたま東京へ出かける機会がありましたので、言われた通り、東京RCに出席して参りました。

当時の東京RCは、ヒジターは指定席となっておりまして、会員の方がテーブルマスターとして、席に就いてきたヒジターにそれぞれ「どこから来ましたか」等々声をかけてきました。私には「名古屋市内は何クラブありますか」と質問されまして、何分入りたての身ですから適当に誤魔化した処、お相手は先刻ご承知。非常に恥をかいた訳ですが、そんなこんなで何となくテーブルが和んだタイミン

グを見計らって、こんな話をされました。

「実は、東京RCの例会の日が、2、26事件の当日と重なった時がある。皆、大雪が降る中、軍隊が警戒態勢を敷く中、例会に出席してきたのだ。本当にびっくりしました。2、26事件と言えば昭和2年ですから私の生まれる前の出来事です。そんな経験をされた方々がここにおられ、今までそれを語り継がれてきている。多分、テーブルマスター役の方は毎回、訳も分からずやってきたヒジター達に東京RCの歴史を説明しておられるのだらう。そう思い至った時

自分として感じたのが「ああ、ロータリーとはこういうものなのか。これが私の、ロータリーに対する想いの原点になった訳であります。これに限らず、ヒジターとして行った例会の出来事というのは記憶に残ることが多々あります。

「仕方ないと思っただけで貴重な経験をしたり、思いがけない方との出会いがあったり……中RCも一時はよくお邪魔しました。そんな時の卓話講師の話は、意外と一生の記憶に残るものがあったりします。今の我々は、メークアップ制度の変化に伴って、あまりよそのクラブを訪問することはあまりませんが、各クラブ、皆それぞれ特徴もあって、例会のやり方も全然違います。そうした経験が己

のロータリーに対する想いの糧となり、またクラブの活性化に繋がることもあるでしょう。是非、年に1度はは出かけてみて下さい。また、迎える方も、ヒジターが来られるとやはり緊張します。お客をもてなすホスピタリティ、ロータリアンとして大事な心を養う良い機会になるのではないかと思います。1人数千円の負担で、地区全体の活性化に繋がれば誠に幸せに思っております。



幹事報告
松本 哲朗さん

乾杯

名古屋大須RC会長
岩崎 征一さん



それでは、乾杯の音頭を取らせて頂きます。田嶋好博ガバナーのご訪問に感謝し、そして、中RC

の皆様、米RCの皆様、大須RCの皆様、益々の活躍を祈念して乾杯したいと思います。ご唱和願います——乾杯！

閉会の言葉

名古屋米RC会長
山田 靖典さん

今日は田嶋ガバナーをお迎えし、名古屋中・大須・米の3RC合同例会を開催しました。かなりの方がお帰りになりましたが、ここで締めなければ終われません。

まだまだガバナー、地区幹事にはお回り頂く所が多いと聞いております。くれぐれも健康にお気を付け頂き、お回り頂きたいと思っております。それでは3RCの合同例会を終わらせて頂きます。

ガバナー・地区幹事・

会長・幹事懇談会

同日11時30分より、田嶋好博ガバナー、水野吉紹地区副幹事をお迎えして、加納 泉バスターガバナー、西村忠郎ガバナー補佐、各クラブ会長・幹事出席のもと、懇談会が開かれました。

広報委員会

近藤 明美・前田 隆久
近藤宏一郎・杉浦 令淑

*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。